**2021年度・第６9回**

**北海道・東北ブロック保育研究大会**

**開　催　要　綱**

～すべての人が

子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして～

　１　趣旨

　　　今後の急速な少子化を見据え、子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるた

　　め、幼児教育の無償化が実施され、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼

　　児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点として取り組まれます。

　　　しかしながら、幼児教育・保育の無償化は、保護者の負担軽減が図られる一方で、潜在的な保

　　育ニーズが拡大されることも予想されるため、受け皿となる保育園等では、保育士不足が深刻度

　　を増すなど、都市部での待機児童の問題、人口減少地域での保育の維持・確保、児童虐待や子ど

　　もの貧困など、子どもを取り巻く状況も深刻化しております。

　　　｢すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支

　　援の質・量の拡充を図る｣とする｢子ども・子育て支援新制度｣の趣旨に基づき、保育所・認定こ

　　ども園等は、保育士等の専門性の向上及び保育の質の確保を図り、養護と教育の実践のもとに、

　　これまで培ってきた保育の営みの大切さを、いま一度広く社会にアピールする必要があります。

　　　このような保育を取り巻く社会情勢をふまえ、これからの保育所等の社会的な使命と役割、実

　　践などについて研究を深めていくとともに、保育研究の場、研究成果を共有しあい今後の保育所

　　等の役割と取り組みについて研究することを目的に開催します。

　　　なお、今年度はコロナ禍により対面式参集型の開催は難しいと思われますので、オンライン形

式での保育研究大会の開催といたします。

　２　主催　　北海道・東北ブロック保育協議会

　３　共催　　未定

　４　後援　　厚生労働省／北海道／青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県／

社会福祉法人全国社会福祉協議会／全国保育協議会／全国保育士会

　５　期日　　令和３年９月１日(水)～３０日(木)

　６　会場　　オンラインで開催

　７　参加対象　　北海道・東北ブロック各道県・指定都市保育関係者

　　　　　　　　　(保育所職員／保育所を経営する法人等の役職員／行政及び社会福祉協議会

職員等)

　８　プログラム　（オンライン動画の内容は下記のとおりです。なお、動画のダウンロードは

不可です。）

１.大会会長挨拶

北海道・東北ブロック保育協議会　会長　東峰雅博

　　　　　　　　　２.基調報告

　　　　　　　　　　　全国保育協議会　会長　奥村尚三氏

３.情勢報告

　　　　　　　　　　　厚生労働省子ども家庭局保育課長　矢田貝泰之氏

　　　　　　　　　　　（※矢田貝課長の「情勢報告」につては、四国ブロックでの講演を

　　　　　　　　　　　　　活用させていただきました。）

　　　　　　　　　４.分科会

　　　　　　　　　　　❖第１分科会　　５発表

　　　　　　　　　　　❖第３分科会　　４発表

　　　　　　　　　　　❖第４分科会　　１発表

　　　　　　　　　　　❖第６分科会　　３発表

　　　　　　　　　　　❖第７分科会　　３発表

　９　分科会　　全国保育協議会の全国共通テーマに基づいて、分科会を構成します。

　　　　　　　　　下記の８分科会に分けられ、それぞれのテーマに沿って、意見発表を行い、

　　　　　　　　　分科会ごとの優秀発表者を選考する。

　　カテゴリー１「子どもの育ちを保障する」

　　　保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を活か

　　し、側面的に支援することをとおして、その子どもの発達を保障することにあります。子ど

　　もの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、ま

　　た、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

　　　○第１分科会テーマ「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」

　　　○第２分科会テーマ「配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて」

　　　○第３分科会テーマ「保育者の資質向上を図る」

　　カテゴリー２「子育てライフを支援する」

　　　子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭

　　を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、多様化する働き方と子育て家庭の

　　ニーズに応えるための機能を充実し、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象

　　とした支援を展開します。

　　　○第４分科会テーマ「地域の子育て家庭への支援の充実にむけて」

　カテゴリー３「多様な連携と協働をつくる」

　　　子育て不安や児童虐待への対応など、子どもと子育て家庭への支援は、地域社会を基盤と

　　して多面的に取り組みを充実していくこと大切です。保育所・認定こども園等は、さまざま

　　な機関・組織・団体や住民が連携･協働して地域の保育機能を高めるための中心的存在として、役割を果たします。

　　　○第５分科会テーマ「子どものより良い育ちに向けた関係機関とのネットワーク」

　　カテゴリー４「子育て文化を育む」

　　　子どもを対象とした犯罪や虐待の増加など、子どもたちをめぐる深刻な課題が増えていま

　　す。次世代を創造する子どもをかけがえのない存在として愛しみ、価値を認め、子どもや子

　　育に多くの人が関心をもち、私たちの未来を創造していく子どもたちを社会全体で育んでい

　　く子育て文化を、保育所・認定こども園等が拠点となって地域社会に発信していきます。

　　　○第６分科会テーマ「「食を営む力」の基礎を培う食育の推進」

　　　○第７分科会テーマ「保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか」

　　カテゴリー５「子育て・子育ちを支援する仕組みをつくる」

　　　わが国の家族関係の給付のＧＤＰに占める割合は諸外国のなかでも大変低い水準です。

　　こうした環境を改善するとともに、日本の未来の社会を担う子どもを中心において、子ども

　　たちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

　　　○第８分科会テーマ「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」

10　研究発表について

　（１）分科会での発表時間は質疑応答と助言者からの助言等を含めて１人３０分程度です。

　（２）レジュメ等の研究発表原稿は、発表項目ごとに柱立てを行い、原稿はパソコンで作成し、様式サイズはＡ４、文字サイズは１０．５ポイントとし、８ページ以内でまとめております。

11　参加申し込みについて

1. 参加者　　７００名

参加を希望される方は別紙「大会への参加申し込みについて」をご参照いただき、ＱＲコードまたは申し込みサイトＵＲＬ（<https://www.mwt-mice.com/events/hoiku-tohoku2021>）より必要事項をご登録願います。

　申し込み開始日　　令和３年８月３０日(月)

　申し込み締切日　　令和３年９月１５日(水)

　（２）個人情報の取り扱いについて

　　　　参加申込書に記載された個人情報は，本大会の運営及び資料の作成に使用します。

　　　　上記以外の目的で本人の了承無く個人情報を第三者に開示することはいたしません。

12　問い合わせ先

　　【大会内容に関すること】

　　　北海道・東北ブロック保育協議会　事務局

　　　福島県保育協議会　事務局長　髙橋千惠子

　　　℡024-573-7431　　FAX 024-573-7432

　　　E-mail：fukushima-hokyo@trad.ocn.ne.jp